

中野駅西側南北通路・橋上駅舎の整備について

中野区が整備する中野駅西側南北通路・橋上駅舎と東日本旅客鉄道（株）（以下「JR」という。）が整備する駅ビルからなる道路一体建物について、JRは工事費の縮減と工程の短縮をめざし駅ビル計画内容見直しによる検討を進めてきた。検討の結果と今後の方向性について報告する。

1. 駅ビル計画内容見直しの検討結果について

- ・道路一体建物について、当初の基本設計時より建物5階部分が縮小されており、床面積が約 2000 m²の減となる。
- ・地質の再調査により建物を支持する杭を見直しており長さが一部短くなっている。
- ・建物縮小及び杭長の見直しによる工期短縮及び建物本体工事に先立ち必要な工事である支障移転工事の早期着手により、JRは工期が約1～2年短縮となるとしている。

2. 道路一体建物（南北通路・橋上駅舎・駅ビル）の見直し後の計画概要

1) 道路一体建物の計画概要

建築面積	6,399 m ²
延べ面積	18,399 m ²
構造	S造
階数	地下1階、地上5階
建物高さ	29.18m
建物用途	2階 駅舎及び駅ビル店舗 3～4階 駅ビル店舗など 5階 駅施設など

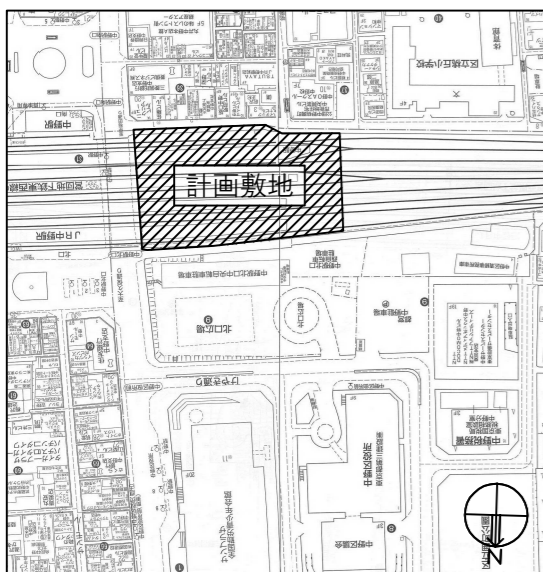
※配置図・平面図、断面図については別紙1のとおり

2) 工程について

※ 工程表については別紙2のとおり

3. 今後の予定

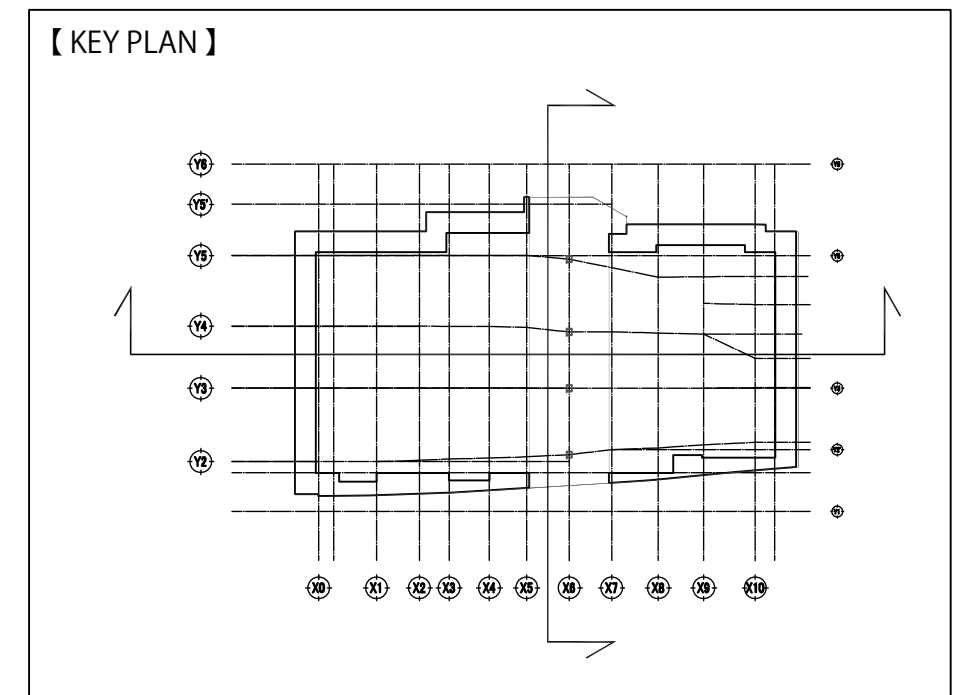
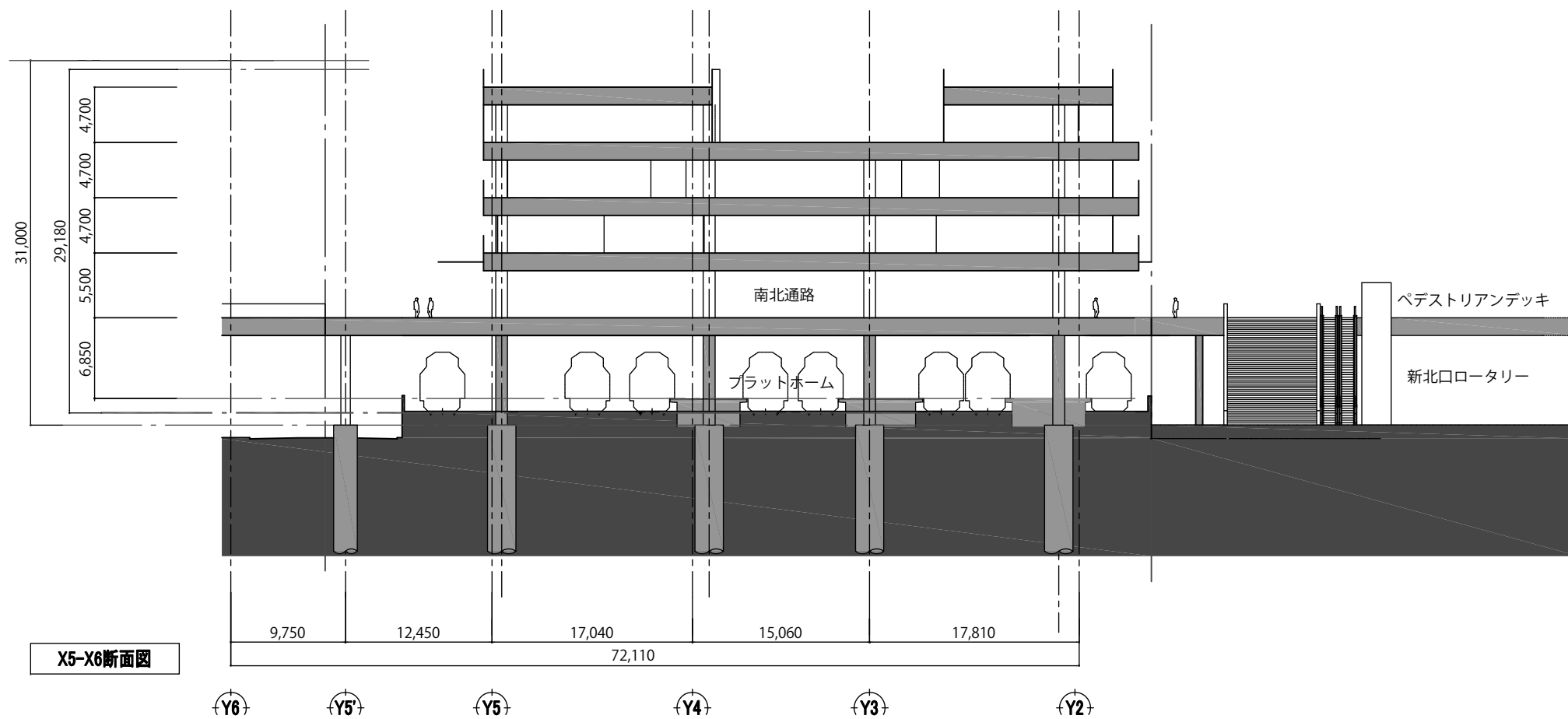
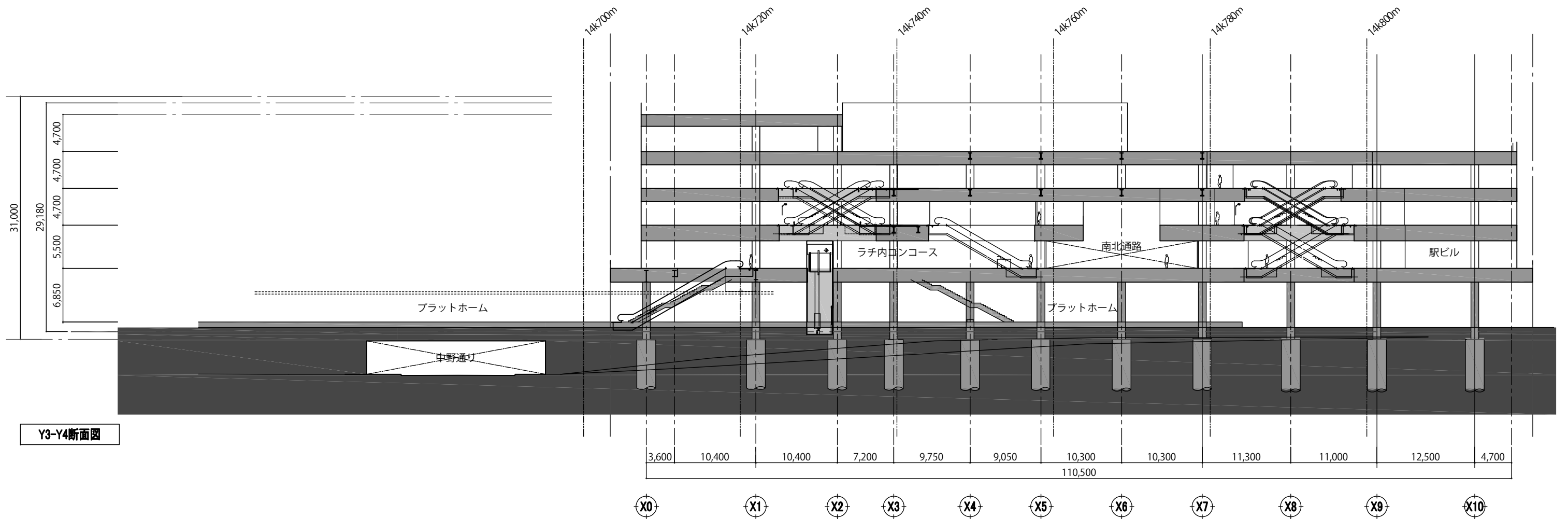
- 公共基盤の検討を踏まえた協議・調整
 - ・区では中野駅新北口駅前エリア（区役所・サンプラザ地区）の公共基盤の配置の検討を進めている。新北口駅前広場と道路一体建物は接続することになるため、JRと十分に協議・調整を行う。
- 実施設計及び支障移転工事着手に向けた協議
 - ・駅ビル計画内容見直し結果を踏まえ、道路一体建物と公共基盤配置の整合を図り、JRと実施設計協定締結の協議を進め、速やかに実施設計に着手する。
 - ・建物本体工事の準備として行う支障移転工事には、できるだけ早期に着手できるようJRと協議を進める。
- 実施設計作業以降の工期短縮協議
 - ・区としては南北通路・橋上駅舎を早期に開業したいと考えており、実施設計作業においても設計内容・工事工程を検証するとともに、さらなる工期の短縮を目指してJRと協力し進めていく。
- 中野駅西側南北通路、橋上駅舎の整備費
 - ・駅ビル計画内容見直しを踏まえた整備費については、中野駅新北口駅前エリアの公共基盤配置との整合及び区役所・サンプラザ地区再整備事業との工程の調整による検討が必要であり、今後、実施設計作業を進める中で精査していく。



位置図

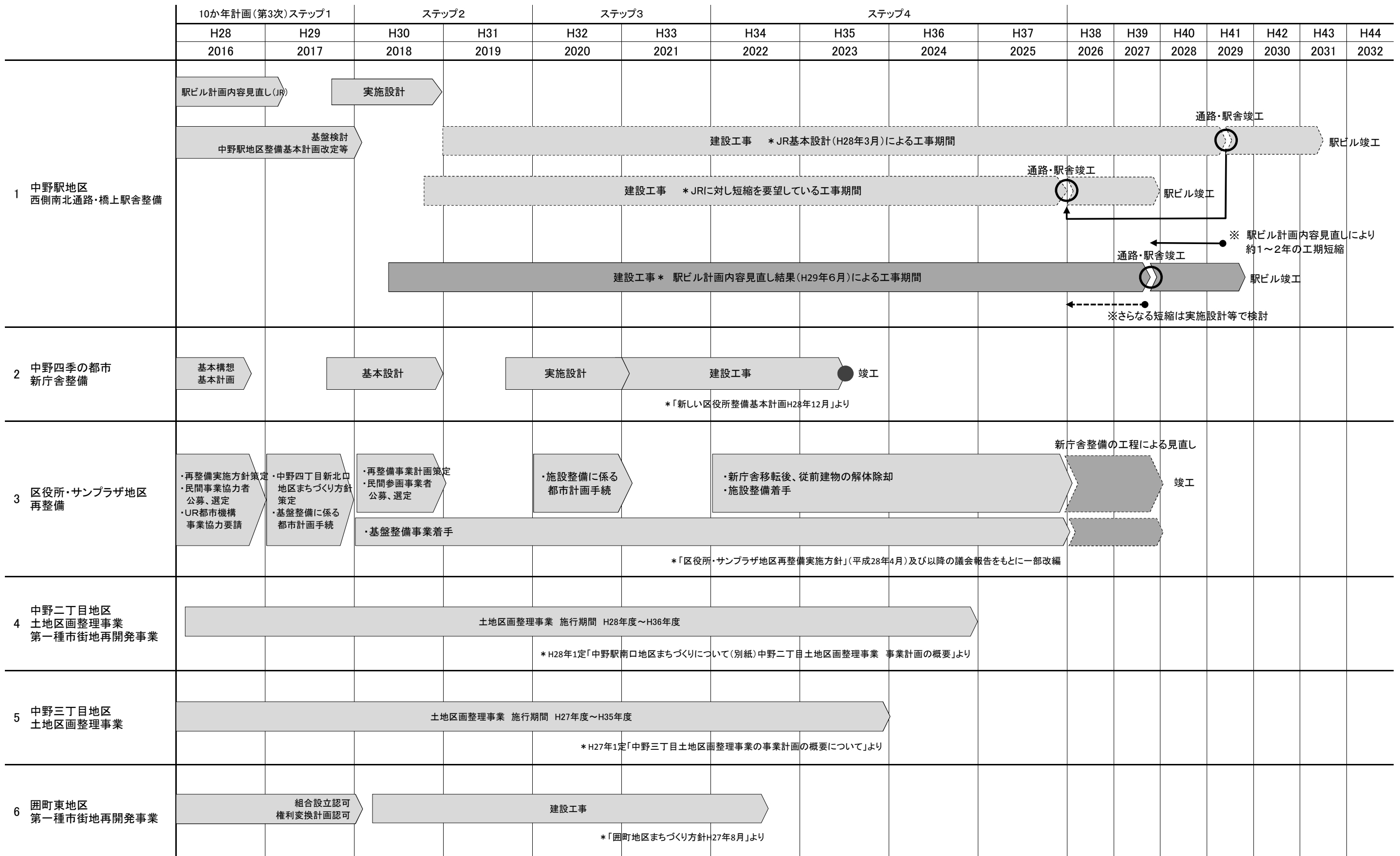


2階平面図
 S=1/500 (A3)
 S=1/250 (A1)



断面図

S=1/500



*当スケジュールは平成29年8月時点での想定であり、今後の事業進捗等により変更する場合があります。